

障害・病気がある人の心の傷を癒す、 オンラインで繋がる“よりどころ” 『障害者ドットコム コミュニティ』

他者とのつながりを持つための一助として、
新たにオンラインサロン「障害者ドットコム コミュニティ」を新設する予定です。
外出や対面の難しい方でも誰かと交流できるよう、
オンラインサロンという形式を選びました。
オンラインサロンは、Web上でのクローズドなコミュニティで、
外出や対面の困難な方でも同じ障害や悩みを持つ人同士で
自助グループのように繋がり合うことができます。
他者と繋がり、孤立を防ぐことで救える命があります。

オンラインサロンが目指すこと



「障害者ドットコム コミュニティ」は、障害の有無だろうと当事者と支援者の関係だろうと関係なくいつでも気軽に話せる「よりどころ」を目指しています。辛い心中を告白したり事件の辛さを分かち合ったり互いに励まし合ったりと、そういった心の拠り所となるのが目標です。コミュニティでは、医師・看護師・専門家などのサポートを受けながら、悩みの共有・転院先などの情報・各種障害福祉制度や福祉サービスなどについて情報交換も出来る場になるようにしていきたいです。また、障害福祉に関わりの深い著名人や業界のトップランナーといった方々を講師に迎えるなどの有意義な企画も開催していきたいと考えています。

経緯（※放火事件を受けて...）

「令和3年12月17日、会社のすぐ近くで、クリニック放火事件が起きました。そして、この火災で支援していた方が犠牲になりました。その日は、ちょうど障害者ドットコム株式会社の設立6周年の日でした。」

社会復帰に向けてリワークプログラムに取り組んでいた方々が数多く犠牲となりました。

放火事件についての関心は徐々に薄れてきています。風化してしまい、不安や恐怖を感じている人たちが他の人に話せなくなるのではないかと危機感を持っています。

そこで助けになるのが、SNSなどオンラインでの繋がりで、同じ悩みを共有することで心の支えになるだけでなく、転院先探しや難しい手続きなどの生活を支える知識も教え合うことができます。

乙武 洋匡 作家・タレント

障害があることで家族や友人にも理解されづらい悩みがあったりする。だからこそ、障害がある人同士で語り合いたい話がある。聞いてもらいたい本音がある。そんなコミュニティをつくろうと始まったチャレンジを、心から応援しています。



東 ちづる 一般社団法人 Get in touch 代表 俳優・タレント

ウィズコロナで分断が進み、生きづらさを抱えている人たちが増えています。

私たちが今必要なのは、「一緒に考えてください」と言って対話ができる居場所です。ゆるく浅く広くつながりながら支えあっていけて、「明日に向かって寝よう」って言うような居場所になればいいなと思っています。

